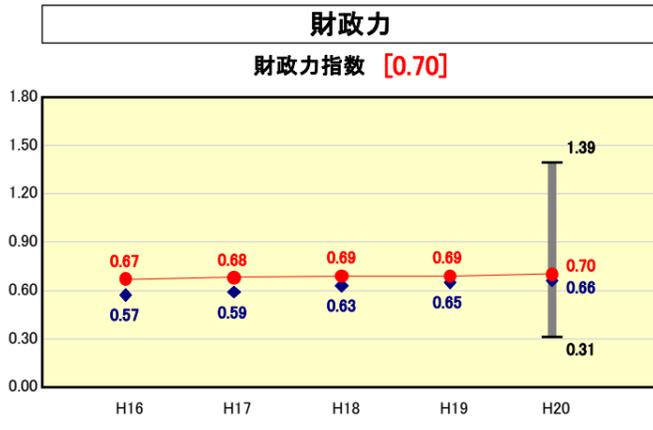


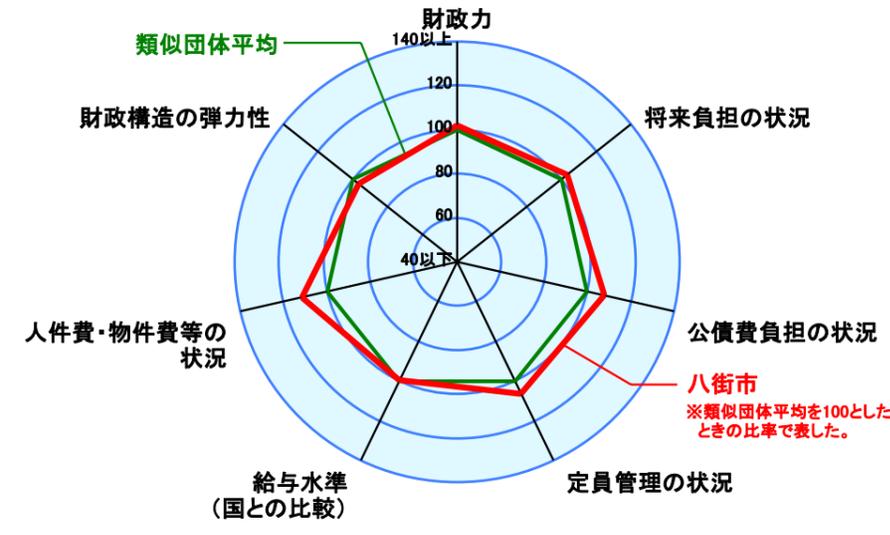
市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



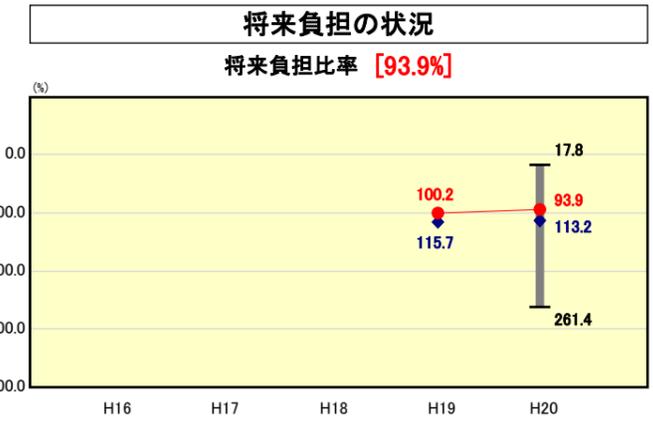
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位
44/129
全国市町村平均
0.56
千葉県市町村平均
0.80

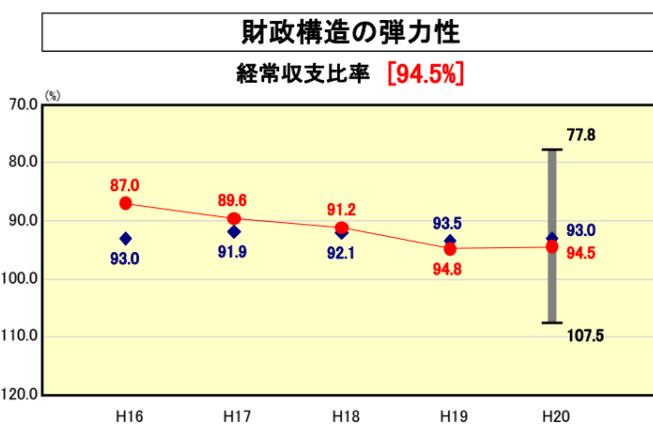
人口	75,410	人(H21.3.31現在)
面積	74.87	km ²
標準財政規模	12,128,425	千円
歳入総額	18,904,516	千円
歳出総額	17,086,169	千円
実質収支	360,849	千円



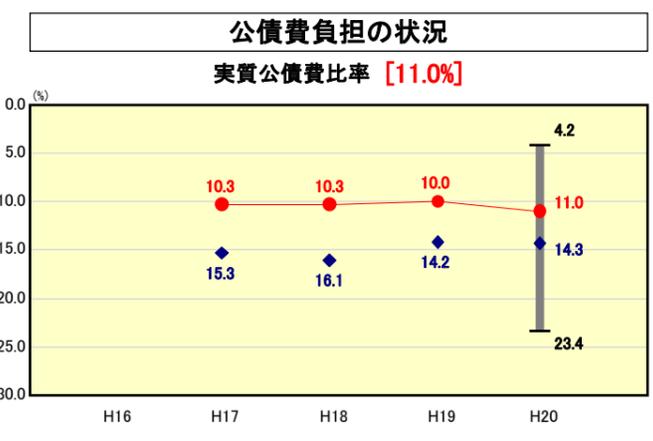
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



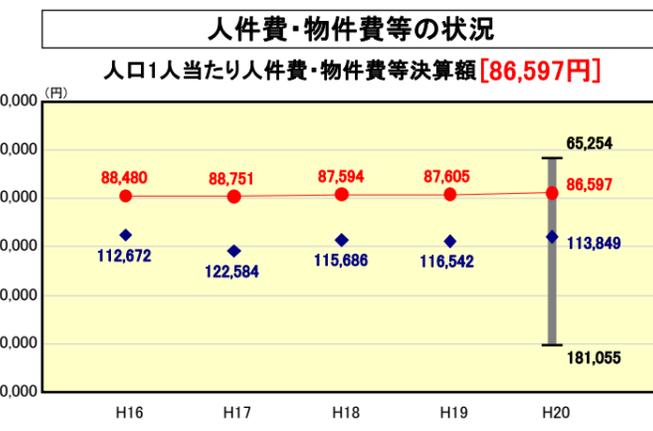
類似団体内順位
53/129
全国市町村平均
100.9
千葉県市町村平均
105.7



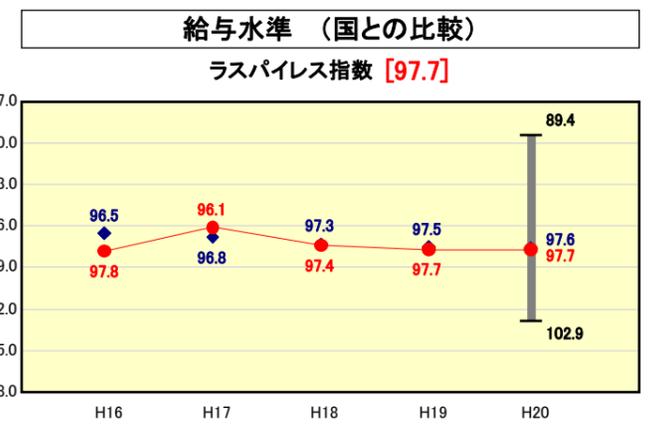
類似団体内順位
85/129
全国市町村平均
91.8
千葉県市町村平均
91.7



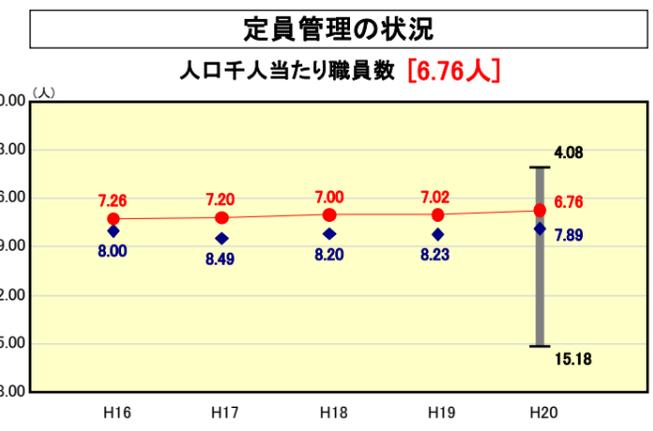
類似団体内順位
26/129
全国市町村平均
11.8
千葉県市町村平均
11.1



類似団体内順位
15/129
全国市町村平均
114,142
千葉県市町村平均
109,074



類似団体内順位
67/129
全国市平均
98.4
全国町村平均
94.6



類似団体内順位
32/129
全国市町村平均
7.46
千葉県市町村平均
7.02

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

◎財政力指数
本市の基幹産業は農業が中心であり、また、新たな財源を確保することができない状況であることから、財政基盤が弱い状況である。今後は、職員数の削減による人件費の削減、組織の合理化を更に推進するとともに、投資的経費を抑制するなど、歳出全般の見直しを実施し、併せて市税の徴収強化を中心とする財政基盤の強化に努める。

◎経常収支比率
扶助費及び公債費の増加により類似団体平均を上回っている。このため、事務事業の見直しを更に推進するとともに、市税の徴収強化など歳入の確保を図る。

◎人口1人当たり人件費・物件費等決算額
地域手当や管理職手当の削減など給与抑制措置を実施するとともに、職員数の削減にも努めており、類似団体平均を下回っている。今後とも更なる経費の節減と定員適正化による人件費の削減を図る。

◎ラスパイレス指数
ラスパイレス指数は類似団体平均とほぼ同程度である。また、職員手当についても特殊勤務手当の全廃など、給与の適正化を図っており、引き続き給与水準の適正化に努める。

◎将来負担比率
将来負担比率は類似団体を下回っているが、今後も公債費等の義務的経費の削減を中心とする行財政改革を推進し、後世への負担を軽減するよう努める。

◎実質公債費比率
実質公債費比率は類似団体を下回っているが、今後は近年実施した大型事業に係る地方債の償還により増加が見込まれる。今後とも、世代間の負担の公平化と公債費負担の中長期的な平準化の観点から適正な起債の活用等に努める。

◎人口1,000人当たり職員数
集中改革プランに基づき職員数の削減(31人減)に努めているところであり、類似団体平均を下回っている。今後も適正な定員管理に努め、集中改革プランの達成を目指す。